

開き戸  
金具

1

引戸  
金具

2

上吊式  
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動  
間仕切  
金具

5

室内用  
アルミ  
建具

6

折戸  
金具

7

取手・  
引手

8

スライド  
丁番

9

スライド  
ワイヤー  
バスケット

10

収納・  
吊金具

11

その他の  
家具金物

12

物干金具  
諸金具

13

設計  
施工  
ガイド

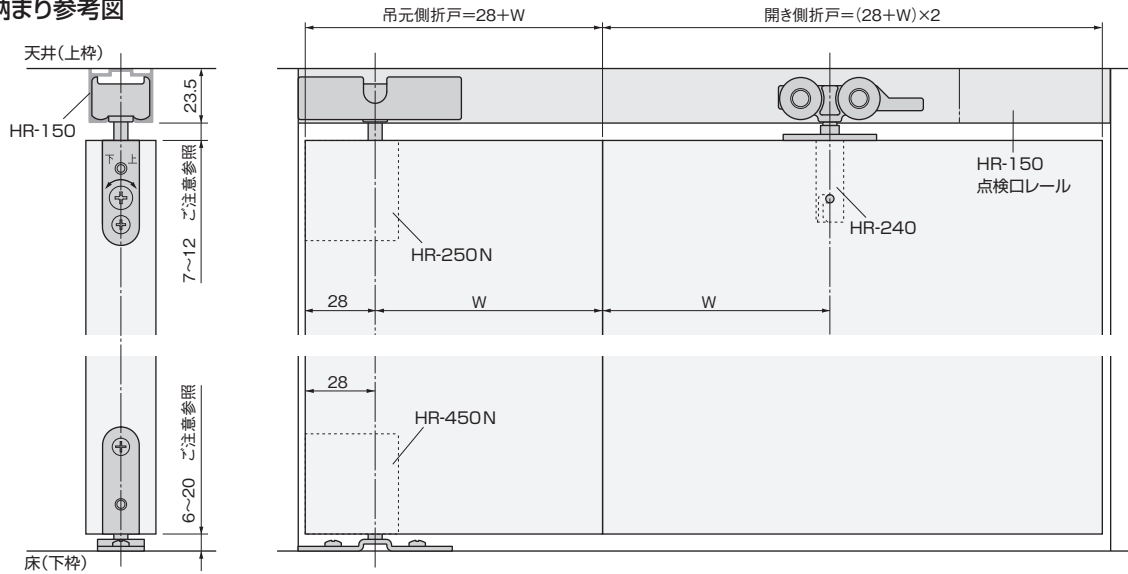
会社案内

**使用条件**

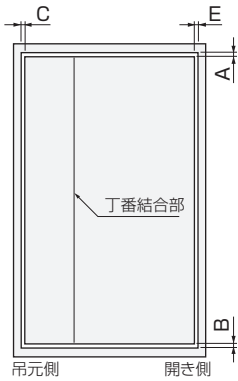
◇折戸1組の総質量:30kg以下 ◇戸の厚さ:30mm以上  
◇折戸1組の戸幅:900~1,200mm、吊元側折戸の戸幅:300~400mm  
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。  
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

**設計ガイド**

**■金具の納まり参考図**



**■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法**



**●上下のすきま**

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7~12  
B=床と戸の間のすきま寸法=6~20

**●左右のすきま設定**

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

**C+E**

使用丁番: HD-37、下表の戸幅は吊元側折戸の寸法です

戸厚/戸幅	300	350	400
30	6.7	6.4	6.3
33	7.0	6.7	6.5
35	7.3	7.0	6.7
40	9.2	8.8	8.5

**C(吊元側すきま寸法)**

戸厚	C
30	5
33	5
35	5.1
40	6.5

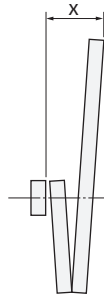
※上記の参考値は「上下の吊元側金具の軸位置=戸端から28mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

**ご注意**

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どしを足した寸法(=13mm)、あるいは最大値どしを足した寸法(=32mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。  
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、13mm<上下のすきま<32mm)  
上下のすきま寸法は、次ページの施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

**■戸を開けた時のX寸法**

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。



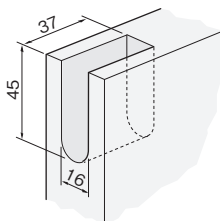
$$X = 99 + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$$

※上記計算式は、「使用丁番HD-37」、「上下ピボットの軸位置=戸端から28mm」として算出しています。

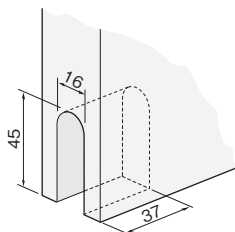
■表記追加 (25/07/01)

**■戸の加工寸法参考図**

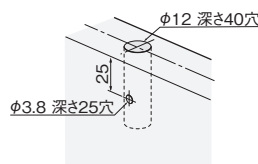
上部吊元固定ブロック (HR-250N) の取付け加工寸法



下部吊元固定金具 (HR-450N) の取付け加工寸法



上部吊り車 (HR-240) の取付け加工寸法



丁番 (HD-37) の取付け加工寸法

